



日本での就職を目指す方に必要とする資格
各科目職種の知識を実習する
日本語N4の合格
N3の合格
各特定技能試験の合格



JLTC
Japanese Language
Training Center



No.24, Nwe Ni Street, Saw Yan Paing West Quarter,
Ahlone Township, Yangon.
+951-2301272, +951-2301273 ,+959 450497240
htetoojltc@gmail.com



トレーニングとしては、初級からの日本語教育や日本での職場に関する基礎知識を実施しております。定められた資格ができた方をミャンマー政府認定の正規人材送り出し機関経由で日本の職場に遣っております。正確な情報提供、必要知識のトレーニングサポート、きちんとした手続き支援等を提供しておりますのでご希望がある方は是非ご連絡をください。喜んで歓迎しております。





当学校での受講科目

日本語
日常生活
規則、法律
基礎知識
介護知識と技術
各科目の実習実施トレーニング

トレーニングコースの時間

実習実施講座 +
12月(2076時間)



📍 No.24, Nwe Ni Street,
Saw Yan Paing West Quarter,
Ahlone Township, Yangon.
☎ +951-2301272, +951-2301273, +959 450497240
✉ htetoojlte@gmail.com



日本での就職を目指す人材を
日本の授業を初級から行っております。
JLTCでの講座を参加したい方の必要と
する資格

- 年齢 — 18 ~ 35歳以内
- 身長 — 152cm以上
- 体重 — 48kg以上
- 最終学歴 — 高等教育 以上
- 体様子 — 健康な方で入れ墨タトゥーなし

📍 住 所: ヤンゴン市アロンタウンシップ西ソーヤンバイン区
ヌーニー通り 24 番地

☎ 連絡先: +951-2301272, +951-2301273, +959 450497240

✉ htetoojlte@gmail.com

(ミャンマー人材の日本で働く意欲と性格)

こんにちは。初めまして。

テッウー送り出し機関会社の日本語担当のウィンパパチョと申します。本日のセミナーに参加できて感謝しております。

ミャンマー人の日本で働く意欲と性格について話していきたいと思います。

テッウーの事を少しご紹介させていただきます。テッウーはミャンマー海外派遣会社として2004年から設立されました。長年にわたり 主に、人材育成に専念しており、さまざまな分野で熟練した個人を訓練し、配置する上で重要な役割を果たしてきました。

シンガポールとマレーシアには建設業など関係の人材を25,000以上送り出していました。

2017年から日本に、技能実習生、特定技能を送り出すライセンスを取得して、介護を中心に、すでに数百人を送り出しています。

最近では特定技能の介護人材の教育・育成に力を入れており、来年には、生活面も含めて教育できる寮を完備した日本語教育センターが完成し、日本での生活、習慣から日本語教育まで幅広くおこなって、よりよい人材を育成してまいります。

ミャンマー人は、基本的に人の面倒をみる事やお世話をする事が当たり前に感じ取り、介護分野は仕事としても人気があります。

よく言われるミャンマー人の特徴と言えば、

-おとなしくておだやか、

-シャイな人が多い、

-仏教徒が9割であり、

-日本人と近い精神構造、

-年上や先生を敬う文化、

-勤勉で真面目なところです。

また、明るく仕事を頑張る人も多いです。業務レベルで日本語の上達が早いです。

年上や先生を敬うことが根付いており、また真面目な性格であることから施設などで先輩や指導してくれる方から教えられた事はまじめに取り込み、言われたことを、しっかり実行する意識があります。

そのため、最初にきちんと指導するば、(自己流)ではなく、実直に言われたことを、言われた通りにきちんとやり遂げます。最初に、しっかり指導すること。指導した内容ができているかをチェックしてフィードバックする事が大切です。

ミャンマー人に長く働いてもらうためには

ミャンマーの人は大きな声で人を怒ることがあまり良いことだといわれていません。

そのため、怒られることに慣れていない人が多いです。

大きな声で怒鳴られたり、みなさんがいるまゝで怒られると、萎縮したり、怖くなってしまって、気持ちがふさいでしまうことがあります。

そうすると仕事面でも意欲がひくくなってしまい、最終的に仕事を続ける気持ちがひくくなってしまいます。

これは日本人でも同じだとは思いますが、上司の方や同僚との人間関係がうまくいかないことが、ミャンマー人にとっては大きなストレスとなります。人間関係がうまくいかなかったり、そのことを相談できる人がいないと、自分の中で不満をためこんでしまい、その場から逃げたい(=会社を辞めたい)という気持ちが強くなります。

だからといって、間違いや、ミスにたいして怒ってはいけないわけではなく、なにがいけなかったのか、どうすればよいのかなどきちんと理由を説明して、本人に理解させること、

怒った後にはげましたりフォローをすることで、その人に対する信頼がますます強くなるという面もあります。

普段の生活としては、日本と同じ仏教なのですが、ミャンマーでは大きな仏像を拝むと幸せになると考える人が多く、日本では「鎌倉の大仏」が非常に有名で見に行きたいと考える人が多いです。鎌倉の大仏は有名ではありますが、各地方にも有名な大仏があるとおもいますので、それをご紹介いただいたり、何かの機会に連れて行ってあげると喜ぶと思います。

また、4月には日本のお正月にあたる「水かけ祭り」という行事がございます。この時期はミャンマーでも長期の休みとなり、多くの人が家族や親せきと集まって過ごします。水かけ祭りの時期は家族と連絡をつ取ったり、お休みをいただいたりしたいというきぼうがあるかもしれません。そのような時期にごはいりよいただくと、法人の皆さんが自分のことを理解していただいていると感謝し、よりいっそう蘇頑張ろうという気持ちになると思います。

なお、わたしたちテッウーがこれまで介護で送り出した人材では、幸いなことに施設様にも恵まれたこともあり、早期に退職したり、転職をしたということはこれまでございません。ぜひともみなさまにもミャンマー人の性格をよりかいいいただくことでより良い関係で、長期にミャンマー人材の育成にもご協力をいただけますとたいへんうれしいです。